

■ 「温度みはり番」 温度を計測することへのこだわり。

「温度みはり番」は、温度、湿度を正確に計測して記録し、その内容をどこからでもスマホなどで監視できることを 目的に開発しました。

ネット上で、パソコンを用いた「これもできます、あれもできます」といった 計測機器をよく見かけます。（CO₂・日射量・飽差(HD)・露点温度）などなど。

実際に、上記のような機器を使用されている方々に、お話しをお聞きしてみますと 多くの人は温度・湿度のみを 利用されている場合が、多いことがわかりました。

ましてや、パソコンでこまごまと画面に表示されたデータを、十分に活用をされて いる ケースは非常に少ないことがわかりました。

弊社では、過去に高価な CO₂コントローラを、マッシュルーム生産者、菌床椎茸 生産者の方々に、数多く販売させていただいた実績があります。その後、導入していただいたお客様の使用状態を確認してみたところ、ほぼ全員が 使用されていないことがわかり大きなショックを受けました。使用する必要がなくなった理由は、CO₂ の場合、お客様のハウス環境下で CO₂の 濃度のパターンがわかってしまえば、温度のように 常に監視をする必要がないから とのことでした。

多くの農業生産物は、やはり温度・湿度の 正確な計測・把握が 最も大切なことと 弊社では考え、基本的に計測した温度を、リアルタイムで簡単に確認できることが 必要であると考えました。

そのような考えから、余計な機能を省いて、ローコストで、正確な温度測定に加え 極めて正確な平均温度の計算などが、確実にできる「温度みはり番」を 8年前に 完成させました。

「温度みはり番」は、植物の生育に重要な 積算温度、低温遭遇時間の計算 監視を スマホ、パソコンなどで、アプリに依存せず、設定した積算温度、低温遭遇時間 植物の休眠打破時間などを、簡単に確認することが可能です。

開発時から 正確な温湿度を計測する為、弊社では 大いに努力を重ねました。

一般的に多く販売されているデータロガー、温度計測システムでは、測定間隔が 1分、とか 2分、とか 測定間隔が短ければ短いほど、望ましく優秀といった感じの カタログスペックをよく見かけますが、、、、
そういったシステムのほとんどのものは、測定間隔について申せば、例えば間隔が 1分間隔といいましても、単純に1分毎にその時の瞬間温度を計測しているだけの ことなのです。

「温度みはり番」は、1秒に1度温度計測し1分間の平均温度を算出し、それを10回 繰り返し、10分間の極めて正確な平均温度をサーバに送信します。

「温度みはり番」は測定間隔で示せば、10分間に600回計測しています。

(上記の事柄は特許取得済みです。)

- 実際のご使用に際しましては、電源を入れていただきますと、自動的に システムが インターネットに接続し、温度の測定を始め、10分ごとに測定データをサーバーに 送信をします。
- ◎サーバーへ送信保存された、測定温度データは、どこからでも簡単に、スマホなどで 確認することが可能です。